

第22回旧RD最終処分場問題連絡協議会

工事の施工方法について

平成29年11月24日

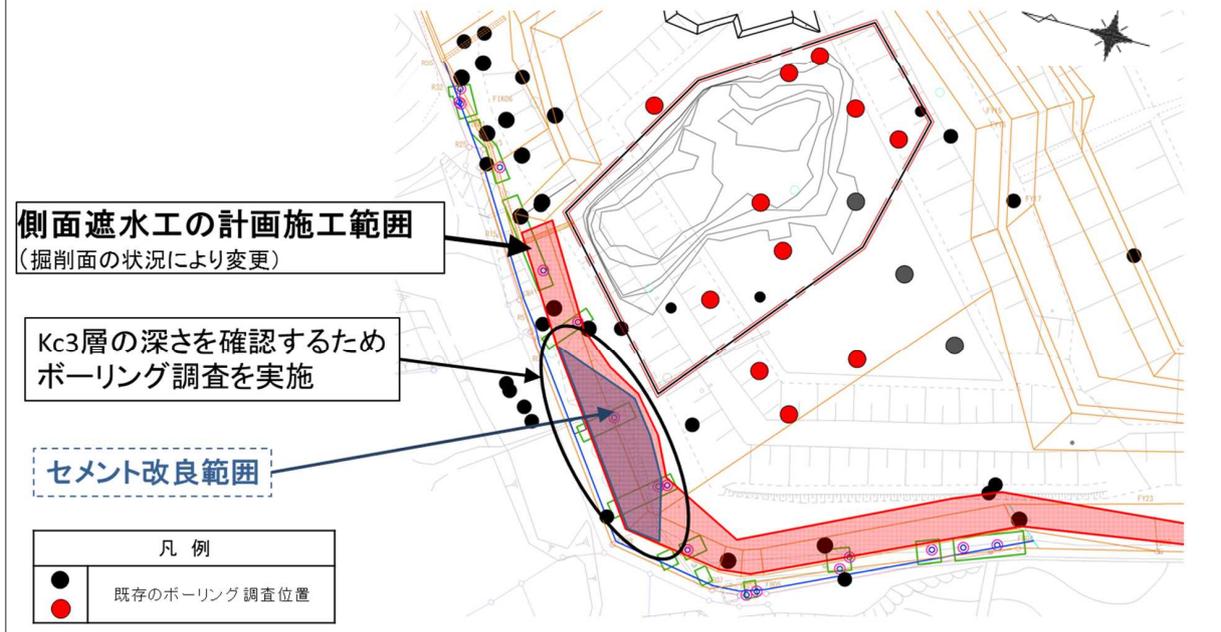
① B工区の側面遮水工と鉛直遮水工の施工方法について

第21回連絡協議会の説明資料より

側面遮水工の施工方法

1) 国道側の側面遮水工の施工範囲

廃棄物掘削面の側面に出現するKc3層より上位の透水性のある地盤に設置する。



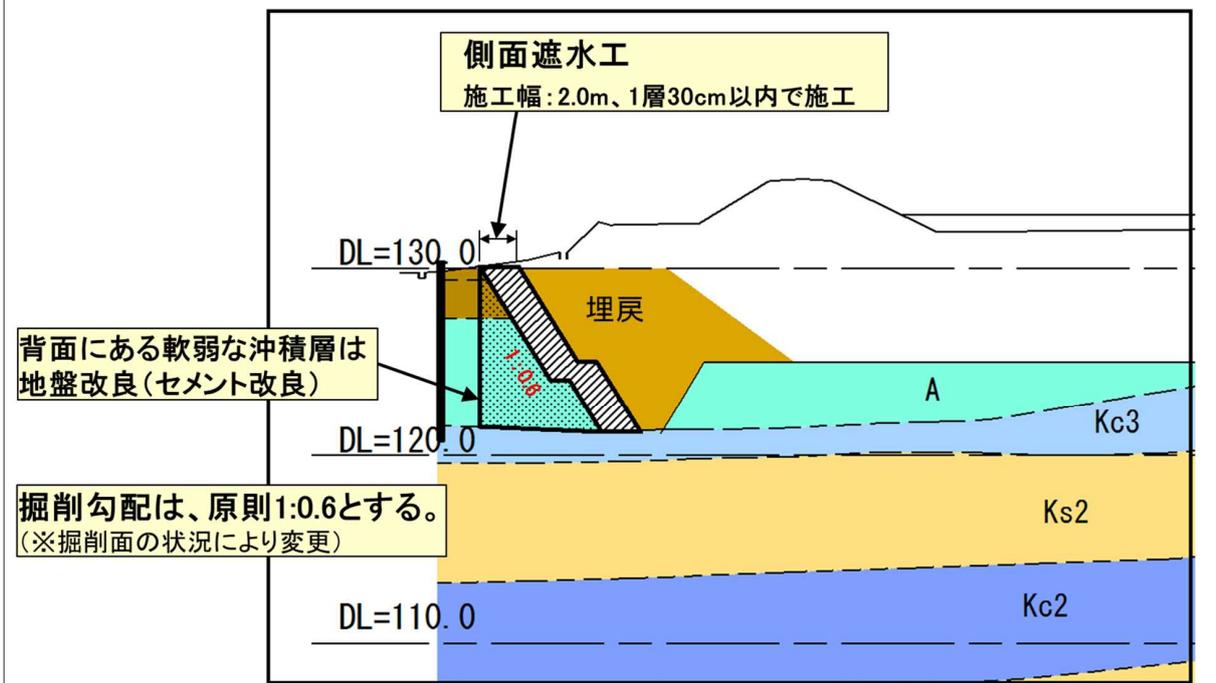
1

① B工区の側面遮水工と鉛直遮水工の施工方法について

第21回連絡協議会の説明資料より

側面遮水工の施工方法

2) 国道側の側面遮水工の基本構造

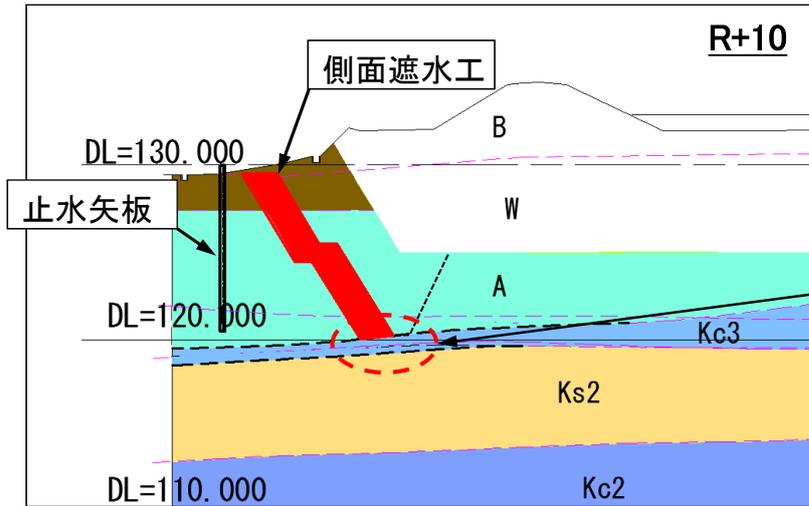


2

① B工区の側面遮水工と鉛直遮水工の施工方法について

- ・側面遮水工を計画しているB工区国道側で新たに行ったボーリング調査において、当初想定よりも沖積層(A)が厚く、遮水層となる粘性土層(Kc3)が深い区間があることが判明した。
- ・この区間において、側面遮水工を粘性土層に接続するために沖積層の掘削を行うと、砂質土層(ks2)からの^{ひあつすい}被圧水※により粘性土層に^{ばんぶく}盤膨れ※が生じる可能性があることが判明した。

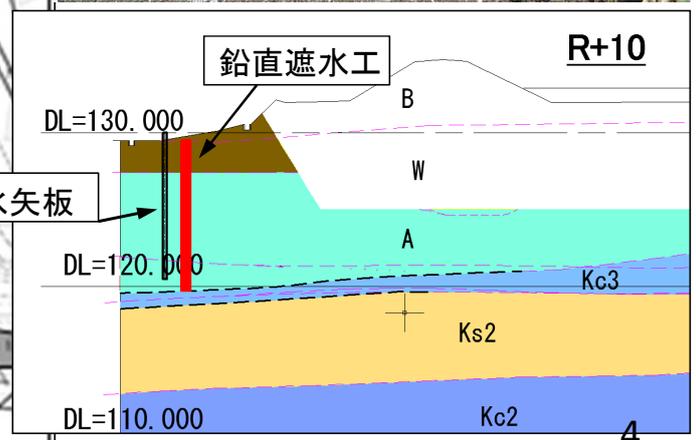
※ 被圧水: 不透水層(Kc)の間に挟まれた透水層(Ks)中の圧力がかかっている地下水。
 盤膨れ: 下からの地下水の圧力により不透水性の地盤が持ち上げられる現象。



沖積層の掘削を行うと粘性土層に盤膨れが生じる可能性がある。

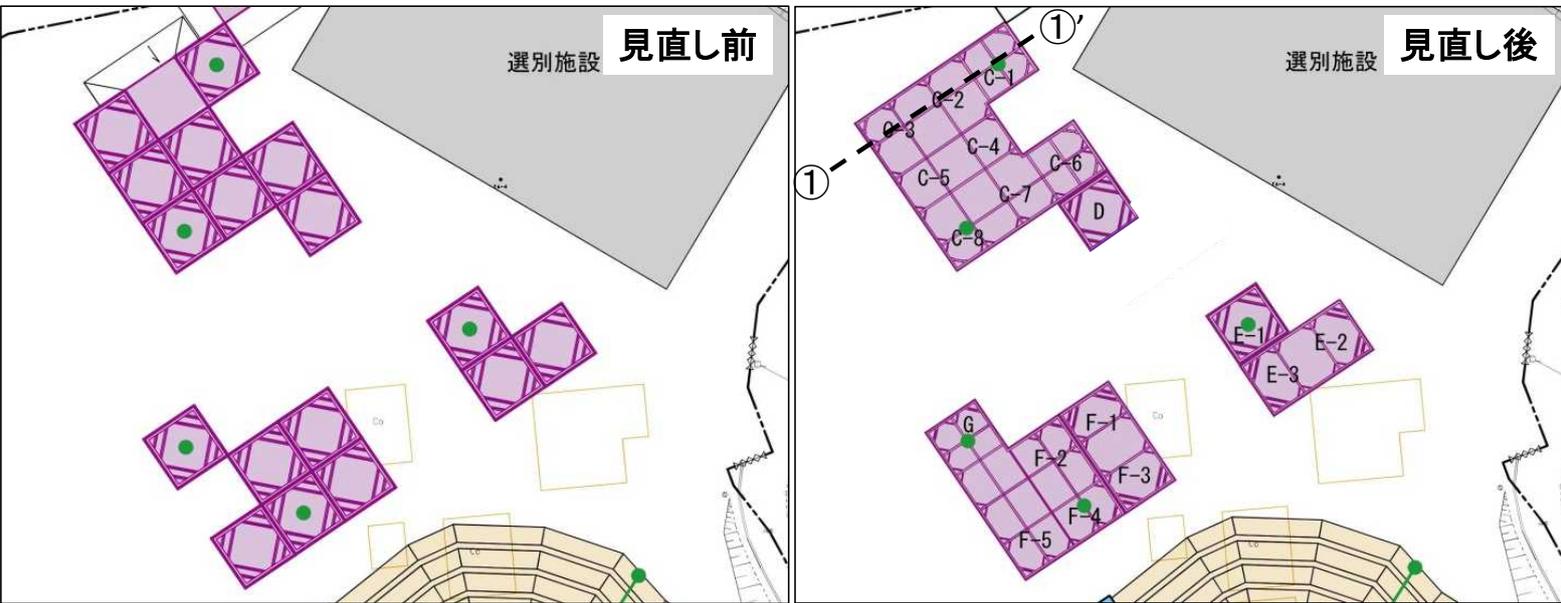
① B工区の側面遮水工と鉛直遮水工の施工方法について

- ・この区間の廃棄物は撤去を完了している。
- ・この区間では沖積層の掘削を行えないため、鉛直遮水工の施工を行うこととした。



② 有害物掘削除去の矢板設置区画について

・各区画毎の有害物の深さが異なるため、10m四方を一区画として掘削を行う計画であったが、C-2～8、E-2・3、F-1・3、F-2・4・5とG区画をそれぞれ一括して掘削を行うように矢板等の設置する範囲を変更する。

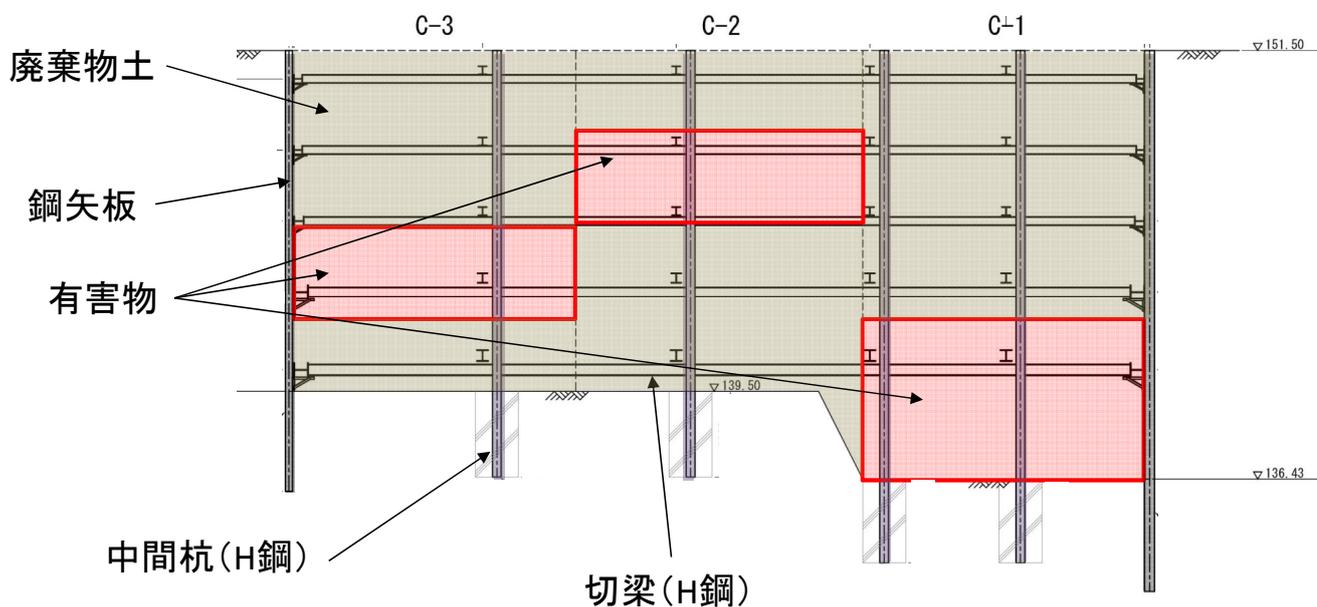


5

② 有害物掘削除去の矢板設置区画について

- ・区画を一括して掘削することで、掘削土量が当初計画よりも増える。
- ・矢板枚数等が減るため工費の縮減や工程の短縮が見込める。

断面図 ①-①'



6